

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成24年6月8日現在

機関番号：12601

研究種目：学術創成研究費

研究期間：2007～2011

課題番号：19GS0102

研究課題名（和文）目録学の構築と古典学の再生

—天皇家・公家文庫の実態復原と伝統的知識体系の解明—

研究課題名（英文）Establishing Library Catalogue Studies and Reviving Japanese Classical Studies—Restoration of the Royal and Noble Library Holdings and Investigation of Traditional Intellectual Systems

研究代表者

田島 公 (TAJIMA ISAO)

東京大学・史料編纂所・教授

研究者番号：80292796

研究成果の概要（和文）：禁裏（天皇家）や主要公家文庫収蔵史料のデジタル画像約100万件、東山御文庫本・伏見宮家本の1画像毎の内容目録約20万件を作成し、編纂所閲覧室での公開準備を進めた。木簡人名データベースと漢籍の受容を網羅した古代対外交流史年表を公開した。『禁裏・公家文庫研究』3・4、研究報告書4冊等を刊行し、禁裏・主要公家文庫の家分け蔵書目録を公開した。「陽明文庫講座」「岩瀬文庫特別連続講座」等市民向け公開講座を約百回開催し講演内容の一部を一般向けの本として刊行した。

研究成果の概要（英文）：

We catalogued roughly 1 million digital images of documents held by the Royal Household and major noble library collections, and made detailed individual inventory entries for 200,000 items listed by the *Higashiyama Obunko-bon* and *Fushimi no Miyake-bon*. Preparations to make these available in the reading room of the Historiographical Institute, University of Tokyo, are underway. Two other projects were completed: a database for searching the names of personages that appear in *mokkan*, and a chronology about the interactions of ancient Japan with other countries, including the transmission of Chinese texts (*kanseki*). Also published were *Research on Royal and Noble Libraries*, vols. 3-4, four volumes of research findings, and bibliographies of individual royal and noble library collections. For the purposes of community outreach, roughly one hundred lectures were delivered in venues such as the Yōmei Bunko Lectures and Iwase Bunko Lecture Series; a portion of these lectures was made into a book aimed at the general public.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	85,800,000	25,740,000	111,540,000
2008年度	76,100,000	22,830,000	98,930,000
2009年度	78,600,000	23,580,000	102,180,000
2010年度	83,900,000	25,170,000	109,070,000
2011年度	83,200,000	24,960,000	108,160,000
総計	407,600,000	122,280,000	529,880,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・日本史

キーワード：日本目録学・日本古典学・禁裏文庫・公家文庫・伝統的知識体系

1. 研究開始当初の背景

洋の東西を問わず、伝統的な知識体系の基礎をなし、規範となったり繰り返して参照されたりする古典に関する精細な研究(古典学)は、全ての人文学の基礎である。しかし世界的な古典学研究復興の中で、日本古典学では新出史料が少ない上に、活字化された既存のテキストの信頼性が揺らぎ始めており、閉塞感が否めない。日本の古代・中世以来の伝統的知識体系は、天皇家を中心とした公家社会の文庫やそれに関連する寺社文庫に収蔵された蔵書群、書写を中心とした弛まぬ蒐集活動、更にそれらが「類聚」という形で分類された有機的なデータベース(蔵書目録)に具象化される形で伝えられてきたことに大きな特徴がある。中国では、古典研究の為の基本ツールとして経・史・子・集の四部分類に基づく目録学という文化史的・学術的研究分野が確立しているが、日本古典研究にはそのような学問領域が確立していない。それを解決するのが日本独自の目録学の構築であり、天皇家・公家文庫収蔵史料の蔵書群ごとの公開により、日本古典学再生の道筋が明らかになる。

2. 研究の目的

日本古典学再生のための新学問領域としての日本独自の目録学を構築し、古典学の研究基盤を整え、天皇家ゆかりの文庫や主要公家文庫に収蔵される史料のデジタル画像を蔵書群ごとに集積しながら、蔵書目録等を利用して、文庫の旧蔵形態を共時的に復原すると共に、蔵書群の変遷や古代・中世以来の公家社会が伝え育んできた伝統的な知識体系の構造・具体相を解明する。

3. 研究の方法

- (1) 東山御文庫・伏見宮家及び近衛家・九条家・柳原家・壬生家等主要公家文庫収蔵史料や正倉院所蔵「東南院文書」等のデジタル画像を作製し、東京大学史料編纂所の専用大型画像サーバ(5TB)に集積する。
- (2) 天皇家ゆかりの文庫である東山御文庫本と伏見宮家本の1画像毎のデジタル画像内容目録を作成する。(1)と(2)により東京大学史料編纂所公開用データベースにデジタル画像目録システムを構築し、閲覧室での公開の準備をする等、古典学の研究基盤を整える。
- (3) 『日本古代人名辞典』の増補改訂等、日本古典研究進展のための研究補助ツールを充実させる研究を行う。
- (4) 禁裏・主要公家文庫の家分けの蔵書目録の作成、文庫史、収蔵古典籍・古文書の個別研究を進展させる。
- (5) 得られた研究成果を研究者に伝えるため目録・報告書・研究書を刊行すると共に、古典学の楽しさを一般市民に普及・還元するた

めに、市民向け学術講演会・講座を行う。

4. 研究成果

- (1) 天皇家・宮家(京都御所東山御文庫本・別置本、宮内庁書陵部所蔵伏見宮家本・桂宮家日記)、主要公家文庫(宮内庁書陵部所蔵九条家本[既整理分]・柳原家本・三条西家本・平田家日記・壬生家本[一部分]・続群書類従本、陽明文庫所蔵近衛家本[陽明叢書他マイクロフィルム分]、京都大学大学院文学研究科所蔵勸修寺家記録・大日本史編纂記録、西尾市岩瀬文庫所蔵柳原家本、山口県立山口図書館所蔵萩藩明倫館旧蔵今井似閑本他)収蔵史料のデジタル画像約108万件を作成し、専用の大型画像サーバ(5TB)に集積した。更に宮内庁正倉院事務所所蔵東南院文書2550件と陽明文庫所蔵近衛家十五函文書約2万7千件等の高精細デジタル画像を作成した。
- (2) 東山御文庫本・伏見宮家本のデジタル画像約32万5千件の内、約63冊に当たる約20万5千件の1画像毎のデジタル画像内容目録(Excelデータ)を作成した。史料編纂所の閲覧室におけるデジタル画像の公開準備のため、東山御文庫本を中心に約10万4千件、東山御文庫本70函分の校正を終了した。また宮内庁書陵部と公開に関する覚書を締結し、伏見宮家本約50件のデジタル画像をHi-Cat Plus(東京大学史料編纂所所蔵史料目録データベース改良版)やTKビュー(デジタル史料画像検索・閲覧システム)により、史料編纂所閲覧室にて公開を開始した。更に、京都大学文学研究科所蔵『大日本史編纂記録』のデジタル画像内容目録を完成し公刊した。そしてその完成形態である画像付き目録を、京都大学文学研究科古文書室で公開した。
- (3) 禁裏・主要公家文庫収蔵史料の家分けの蔵書目録として、①小倉慈司編「宮内庁書陵部所蔵伏見宮家本目録」(『禁裏・公家文庫研究』3 思文閣出版 2009)、②同編「東山御文庫マイクロフィルム内容目録(稿)索引」(同上)、③同編「宮内庁書陵部所蔵九条家旧蔵本目録(稿)」(『禁裏・公家文庫研究』4 思文閣出版 2012)、④同編「宮内庁書陵部所蔵柳原家旧蔵本目録(稿)」(同上)、⑤西尾市岩瀬文庫編「西尾市岩瀬文庫柳原家旧蔵資料目録(A)(B)」(同上)、⑥尾上陽介「翻刻『近衛家記録十五函目録』」(同上)、⑦田良島哲他編「東京国立博物館所蔵「菊亭家(今出川家)旧蔵典籍類目録」」(東京大学史料編纂所研究成果報告2008-1『目録学の構築と古典学の再生』、2009)を公開した。更に陽明文庫架蔵の蔵書目録・カード掲載の全ての近衛家所蔵資料をデジタルデータ化した。
- (4) 禁裏・主要公家文庫収蔵史料の旧蔵形態の復元的研究として、伏見宮家本と柳原家本に関する研究を発表した。

(5) 古典研究進展のための研究支援ツールの公開と史料翻刻・内容目録の公開を行った。
①竹内理三他編『日本古代人名辞典』1～7の増補改訂のため同辞典の全内容を Excel データとして入力した。また奈良文化財研究所のHP上で「木簡人名データベース」を公開した (http://jinmei.nabunken.go.jp/mokkan_name/)。更に延暦年間以降、9世紀末までの六国史等に見える人名収集を行った。

②大宝元年から文治元年までもたらされた漢籍を中心とした知識や往来した物品・人物等を網羅した、日本列島と中国大陸や朝鮮半島との交流史年表を大幅に増補し刊行した。

③原本調査に基づき東山御文庫所蔵『地下文書』『延暦寺文書』の翻刻を初めて公刊した。

④陽明文庫所蔵『兵範記』紙背文書と同所蔵『勘例』の内容目録を公開した。

⑤国宝・九条家本『延喜式』1～5(東京国立博物館古典籍叢刊)の刊行の助力をし、1・2・3巻を刊行した。更に第5巻所収の「解題」「紙背文書」の全文翻刻のため、九条家本『延喜式』の書誌学的な研究を行った。

⑥尊経閣文庫所蔵『無題号記録』(後三条天皇撰『院御書』の叙位[前欠]・女叙位・除目[後欠])と『春玉秘抄』(源有仁撰『春次第』を徳大寺実定が改編)の詳細な解題を発表し、後三条天皇や皇孫源有仁の儀式書の系譜を解明すると共に、明治大学図書館所蔵三条西家旧蔵本『除秘鈔』が後三条天皇撰『院御書』の除目の未紹介部分を含むことを発見した。

⑦大江匡房撰『言談抄』、源師時撰『綿文』、藤原長方の日記『禅中記抄』、藤原定能の日記『定能卿記部類』等撰関・院政期の未紹介史料の翻刻・解説を公開した。

(6) 古典研究の裾野を広げる文化活動として以下の講演会等約100回主催・共催した。

①西尾市岩瀬文庫「特別連続講座」於同文庫・吉良町公民館(愛知県西尾市) 2008年6月7日～2012年3月24日 22講(共催)

②飯田市歴史研究所講座「古代の史料を読む」於飯田市地域交流センター(長野県飯田市) 2008年1月26日・2月2日、4講(共催)

③社団法人金鶏会公開講座「古典を読む」於金鶏会館(長野市)、2007年8月25日～2012年1月21日、58講。学術シンポジウム「古代シナノ地域史の再構築」於ホテル犀北館(長野市) 2011年10月15日・16日 7講

④第1回「陽明文庫講座 よみがえる宮廷文化」於立命館大学朱雀キャンパス(京都市中京区) 2011年1月30日、2月6日・13日・20日 4講(うち1回はフォーラム)。第2回「陽明文庫講座 よみがえる宮廷文化の華」於同上 2012年1月22日・29日、2月5日・12日・19日 5回9講

⑤東京大学史料編纂所セミナー「王朝の「雅」を伝える公家文庫」於一橋記念講堂(東京都千代田区) 2011年10月1日 4講(共催)

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者/専任スタッフには下線)

〔雑誌論文〕(計60件) *印は査読有

①吉岡眞之、*『『延喜式覆奏短尺草写』をめぐって』、『延喜式研究』28号、2012、pp. 1-21

②吉岡眞之、「蓬左文庫本『続日本紀』の伝来とその意義」、『武家の文物と源氏物語絵—尾張徳川家伝来品を起点として シリーズ1』、翰林書房、2012、pp. 12-23

③三角洋一、「『言談抄』の三伝本の関係」、『禁裏・公家文庫研究』第4輯、思文閣出版、2012、pp. 3-15

④鍛冶宏介、「『大日本史編纂記録』の史料的特質」、同上、2012、pp. 17-58

⑤志村佳名子、「東山御文庫所蔵『日本紀略』と禁裏文庫の『日本後紀』」、同上、2012、pp. 85-106

⑥田島公、「早稲田大学図書館所蔵『先秘言談抄』の書誌と翻刻」、同上、2012、pp. 109-116

⑦中町美香子、「三条西家旧蔵『禅中記抄』」、同上、2012、pp. 117-145

⑧藤原重雄、「宮内庁書陵部所蔵九条家本『定能卿記部類』八「興福寺供養」」、同上、2012、pp. 147-162

⑨吉岡眞之、「柳原家旧蔵書籍群の形成と現状」、東京大学史料編纂所研究成果報告2011-3『目録学の構築と古典学の再生』、2012、pp. 242-298

⑩藤原重雄、「京都御所東山御文庫本「大臣似絵」覚書」、同上、2012、pp. 238-241

⑪末柄豊、「伏見宮旧蔵文書二題」、同上、2012、pp. 217-222

⑫木下聡、「『室町幕府申次覚書』について」、同上、2012、pp. 194-216

⑬金子拓・遠藤珠紀、『兼見卿記』自元亀元年至四年記紙背文書」、同上、2012、pp. 167-193

⑭森哲也、「小杉楯邸『関西地方古書画古器物縦覧調査記録』に見える東大寺文書」、同上、2012、pp. 136-166

⑮田島公、「陽明文庫所蔵『除目次第』紙背文書の紹介」、同上、2012、pp. 121-135

⑯金田章裕、「古代三河の国府・条里・交通路」、『史料から読み解く三河 西尾市岩瀬文庫特別連続講座』、笠間書院、2012、pp. 51-76

⑰馬場基、「参河の海の贅木簡のかたること」、同上、2012、pp. 101-133

⑱原秀三郎、『『万葉集』から持続上皇三河行幸を読み解く』、同上、2012、pp. 135-204

⑲西本昌弘、「平安時代の除目書『綿書』の一伝本」、『関西大学文学論集』61巻4号、2012、pp. 1-22

⑳末柄豊、*「禁裏文書にみる室町幕府と朝廷」、『ヒストリア』230号、2012、pp. 95-121

㉑小倉慈司、「尊経閣文庫所蔵『雲図鈔』解

説、尊経閣文庫影印集成第7輯第48冊『雲
函鈔』、八木書店、2012、pp.1-22
②森哲也、「宮内庁書陵部所蔵『東大寺所蔵
古文書』について」、『正倉院文書研究』12、
2011、pp.99-116
③小倉慈司、「古活字本・版本『日本書紀』
をめぐって」、『史料としての『日本書紀』』、
勉誠出版、2011、pp.322-343
④遠藤基郎、*「中世東大寺文書を俯瞰する」、
『年報三田中世史研究』18、2011、pp.1-38
⑤三角洋一、「文学と有職故実」、中世文学と
隣接諸学5『中世の学芸と古典注釈』、竹林舎、
2011、pp.241-260
⑥田島公、「尊経閣文庫所蔵『無題号記録』
解説」、尊経閣文庫善本影印集成49『無題号
記録 春玉秘抄』、八木書店、2011、pp.1-43
⑦田島公、「尊経閣文庫所蔵『春玉秘抄』解
説」、同上、2011、pp.45-121
⑧藤原重雄、「絵画史料に描かれた蔵」、考古
学と中世史研究8『中世人のたからもの』、高
志書院、2011、pp.81-110
⑨尾上陽介・藤原重雄、「京都御所東山御文
庫収蔵『政部類記』紙背文書」、『東京大学史
料編纂所研究紀要』21号、2011、pp.76-82
⑩小倉慈司、*「『本朝皇胤紹運録』写本の
基礎的研究」、『国立歴史民俗博物館研究報
告』163集、2011、pp.293-342
⑪藤原重雄、「宮内庁書陵部所蔵九条家本『春
日社社記』」、東京大学史料編纂所研究成果報
告2009-4『目録学の構築と古典学の再生』、
2011、pp.331-340
⑫末柄豊、「室町時代の禁裏本諸家系図に関
する覚え書」、同上、2011、pp.319-330
⑬末柄豊、「東京大学史料編纂所所蔵口宣綸
旨院宣御教書案」、同上、2011、pp.297-318
⑭末柄豊、「細川幽齋と武家故実」、森正人他
編『細川幽齋』、笠間書院、2010、pp.171-188
⑮遠藤珠紀・尾上陽介・宮崎肇、「『頼資卿熊
野詣記』『後鳥羽院修明門院熊野御幸記』『修
明門院熊野御幸記』紙背文書の紹介」、『鎌倉
遺文研究』26号、2010、pp.95-110
⑯遠藤珠紀、*「中世朝廷の運営構造と経済」、
『歴史学研究』872号、2010、pp.61-71
⑰桃崎有一郎、「鎌倉幕府の秩序形成におけ
る拝賀儀礼の活用と廃絶」、阿部猛編『中世
政治史の研究』、日本史史料研究会、2010、
pp.281-312
⑱遠藤珠紀、「『職原抄』の伝来について」、
同上、2010、pp.953-972
⑲末柄豊、*「足利義植の源氏長者就任」、『日
本歴史』748号、2010、pp.87-95
⑳西本昌弘、「尊経閣文庫所蔵『内裏式』解
説」、尊経閣文庫影印集成第7輯第46冊『内
裏式』、八木書店、2010、pp.1-17
㉑田島公「祈年祭料の「白猪」と近江国」、
臈谷壽・山中章編『平安京とその時代』、思
文閣出版、2009、pp.120-158

㉒志村佳名子、*「平安時代日給制度の基礎
的考察—東山御文庫本『日中行事』を手がかり
として—」、『日本歴史』739号、2009、
pp.1-18
㉓山口英男「牧の経営」、『飯田市歴史研究所
年報』7号、2009、pp.30-37、
㉔田島公「古代科野の宮号舎人氏族」、同上、
2009年、pp.38-60
㉕末柄豊、「東山御文庫に残された足利義政
女房奉書について」、同上、2009、pp.339-348
㉖中町美香子、「東山御文庫蔵『移行外記政
於官庁儀式』」同上、2009、pp.396-407
㉗飯倉晴武、「伏見宮本の変遷」、『禁裏・公
家文庫研究』第3輯、思文閣出版、2009、
pp.13-47
㉘桃崎有一郎、「『後円融院宸記』永徳元年・
二年・四年記」、同上、2009、pp.49-87
㉙西本昌弘、「九条家本『神今食次第』にみ
える「清涼御記」逸文」、同上、2009、
pp.137-156
㉚藤原重雄、「承安三年最勝光院供養に関す
る史料」、同上、2009、pp.183-195
㉛田島公、「『公卿学系譜』の研究」、同上、
2009、pp.227-318
㉜田島公、「尊経閣文庫所蔵『三宝感応要略
録』解説」、尊経閣文庫善本影印集成43『三
宝感応要略録』、八木書店、2008、pp.1-40
㉝田島公、「古代史史料として分析した「長
谷寺漢音造立縁起」」、『古事談』を読む解く』、
笠間書院、2008、pp.224-251
㉞田島公、「西濃地域にみる王領・禁野とヤ
マト王権』『季刊考古学・別冊16 東海の古
墳風景』、雄山閣、2008、pp.144-152
㉟尾上陽介、「東京理科大学近代科学資料館
所蔵『具注暦 仮名暦』について」、『東京大
学史料編纂所研究紀要』18、2008、pp.106-118
㊱末柄豊、「後土御門天皇の絵巻披見をめぐ
って』『東京大学史料編纂所附属画像解析セ
ンター通信』41、2008、pp.4-9
㊲田島公「尊経閣文庫所蔵『三宝絵』の書誌」、
尊経閣文庫善本影印集成41-1『三宝絵』、八
木書店、2007、pp.3-23

〔学会発表〕(計22件) *印は招待講演
①吉岡眞之、「柳原家旧蔵書籍群について」、
東京大学史料編纂所256回研究発表会、東京
大学史料編纂所大会議室(東京都文京区)、
2012年3月29日
②田島公・末柄豊「三条西家旧蔵『除秘鈔』
について」、同上
③吉岡眞之、*「『延喜式覆奏短尺草写』を
めぐって」、延喜式研究会研究集会、法政大
学(東京都千代田区)、2011年7月2日
④末柄豊、*「禁裏文書にみる室町幕府と朝
廷」、大阪歴史学会2011年度大会、神戸大学
(神戸市灘区)、2011年6月26日
⑤藤原重雄、*「絵画史料に描かれた蔵」、

第8回考古学と中世史シンポジウム、帝京大学山梨文化財研究所(山梨県笛吹市)、2010年7月4日

⑥遠藤珠紀、「中世朝廷の運営構造と経済」、歴史学研究会大会日本中世史部会、専修大学(神奈川県川崎市)、2010年5月23日

⑦飯田剛彦・加藤友康・田島公「東南院文書の高精細デジタル撮影と研究事業」、第27回正倉院文書研究会、キャンパスポート大阪(大阪市北区)、2008年11月8日

⑧田島公、*「日本における目録学の構築と古典学の再生」、日本史研究会古代史部会12月月例会、機関紙会館(京都市中京区)、2007年12月16日

〔図書〕(計25件)

①末柄豊校訂・解題、八木書店、『京都御所東山御文庫所蔵延暦寺文書』、2012、290頁

②田島公編、笠間書院、『史料から読み解く三河―西尾市岩瀬文庫特別連続講座』、2012、232頁

③田島公編、思文閣出版、『禁裏・公家文庫研究』第4輯、2012、404頁

④田島公編・刊、『日本、中国・朝鮮対外交流史年表(稿)―大宝元年～文治元年―〔増補改訂版〕』、2012、249頁

⑤田島公編・刊、東京大学史料編纂所研究成果報告2011-3『目録学の構築と古典学の再生―一天皇家・公家文庫の実態復原と伝統的知識体系の解明―』、2012、298頁

⑥西本昌弘、吉川弘文館、『日本古代の年中行事書と新史料』、2012、369頁

⑦東京国立博物館古典籍叢刊編集委員会編(編集委員:島谷弘幸・田良島哲・高橋裕次・田島公・吉岡眞之・月本雅幸)、思文閣出版、『東京国立博物館古典籍叢刊2 九条家本延喜式二』、2012、533頁

⑧同上編(編集委員:同上)、思文閣出版、『東京国立博物館古典籍叢刊1 九条家本延喜式一』、2011、445頁

⑨遠藤珠紀、吉川弘文館、『中世朝廷の官司制度』、2011、393頁

⑩田島公編・刊、東京大学史料編纂所研究成果報告2009-4『目録学の構築と古典学の再生―一天皇家・公家文庫の実態復原と伝統的知識体系の解明―』、2011、360頁

⑪鍛冶宏介、東京大学史料編纂所研究成果報告2009-4別冊『大日本史編纂記録』目録』、2011、719頁

⑫遠藤基郎、山川出版社、『後白河上皇―中世を招いた奇妙な「暗主」』、2011、96頁

⑬西本昌弘校訂・解題、八木書店、『新撰年中行事』、2010、264頁

⑭田島公編、思文閣出版、『禁裏・公家文庫研究』第3輯、2009、488頁

⑮田島公編・刊、東京大学史料編纂所研究成果報告2008-1『目録学の構築と古典学の再生

―一天皇家・公家文庫の実態復原と伝統的知識体系の解明―』、2009、411頁

⑯末柄豊校訂・解題、八木書店、『京都御所東山御文庫所蔵地下文書』、2009、275頁

⑰遠藤基郎、東京大学出版会、『中世王権と王朝儀礼』、2008、448頁

〔その他〕

ホームページ(禁裏・公家文庫研究の窓)

<http://www.hi.u-tokyo.ac.jp/kodai/kinri-kuge-index.html>

木簡人名データベース

http://jinmei.nabunken.go.jp/mokkan_name/

6. 研究組織

(1) 研究代表者

田島 公 (TAJIMA ISAO)

東京大学・史料編纂所・教授

研究者番号: 80292796

(2) 研究分担者

山口 英男 (YAMAGUCHI HIDEO)

東京大学・史料編纂所・教授

研究者番号: 40182456

(H19・H21～: 研究分担者、H20: 連携研究者)

尾上 陽介 (ONOE YOUSUKE)

東京大学・史料編纂所・准教授

研究者番号: 00242157

(H19・H21～: 研究分担者、H20: 連携研究者)

遠藤 基郎 (ENDO MOTOO)

東京大学・史料編纂所・准教授

研究者番号: 40251475

末柄 豊 (SUEGARA YUTAKA)

東京大学・史料編纂所・准教授

研究者番号: 70251478

(H19・H22～: 研究分担者、H20～H21: 連携研究者)

石上 英一 (ISHIGAMI EICHI)

東京大学・史料編纂所・名誉教授

研究者番号: 40092134

(H23のみ参画)

藤井 譲治 (FUJII JOJI)

京都大学・大学院文学研究科・教授

研究者番号: 40093306

金田 章裕 (KINDA AKIHIRO)

京都大学・大学院文学研究科・名誉教授

研究者番号: 60093233

西山 良平 (NISHIYAMA RYOHEI)

京都大学・大学院人間環境学研究科・教授

研究者番号: 30135503

(H23のみ参画)

坂上 康俊 (SAKAUE YASUTOSHI)
九州大学・大学院人文科学研究院・教授
研究者番号：30162275
(H23のみ参画)
西本 昌弘 (NISHIMOTO MASAHIRO)
関西大学・文学部・教授
研究者番号：00192691
(H22より参画)
本郷 真紹 (HONGO MASATSUGU)
立命館大学・文学部・教授
研究者番号：70202306
(H22より参画)
加藤 友康 (KATO TOMOYASU)
明治大学・大学院・特任教授
研究者番号：00114439
(H19～H20・H23：研究分担者、H21～H22：
連携研究者)
武内 孝善 (TAKEUCHI KOZEN)
高野山大学・文学部・教授
研究者番号：60131611
(H23のみ参画)
田良島 哲 (TARASHIMA SATOSHI)
東京国立博物館・学芸研究部・調査研究課
長 (研究職)
研究者番号：60370996
渡辺 晃宏 (WATANABE AKIHIRO)
奈良文化財研究所・都城発掘調査部・史料
研究室長
研究者番号：30212319

(3) 連携研究者

石川 徹也 (ISHIKAWA TETSUYA)
東京大学・史料編纂所・特任 (客員) 教授
研究者番号：20041808
(H19：研究分担者、H20～：連携研究者)
山口 和夫 (YAMAGUCHI KAZUO)
東京大学・史料編纂所・准教授
研究者番号：00239881
(H19：研究分担者、H20～：連携研究者)
藤原 重雄 (FUJIWARA SHIGEO)
東京大学・史料編纂所・助教
研究者番号：40313192
(H19：研究協力者、H20～：連携研究者)
稲田 奈津子 (INADA NATSUKO)
東京大学・史料編纂所・助教
研究者番号：60376639
(H22より参画)
遠藤 珠紀 (ENDO TAMAKI)
東京大学・史料編纂所・助教
研究者番号：10431800
(H22より参画)
三角 洋一 (MISUMI YOITI)
東京大学・大学院総合文化研究科・教授

研究者番号：90036591
(H19：研究分担者、H20～：連携研究者)
月本 雅幸 (TSUKIMOTO MASAYUKI)
東京大学・大学院人文社会系研究科・教授
研究者番号：60143137
(H19：研究分担者、H20～：連携研究者)
吉川 真司 (YOSHIKAWA SHINJI)
京都大学・大学院文学研究科・教授
研究者番号：00212308
(H19：研究協力者、H20～：連携研究者)
小倉 慈司 (OGURA SHIGEJI)
国立歴史民俗博物館・研究部歴史研究系・
准教授
研究者番号：20581101
(H19～H21：研究協力者、H22～：連携研
究者)
綾村 宏 (AYAMURA HIROSHI)
京都女子大学・文学部・教授
研究者番号：20000507
(H19：研究分担者、H20～：連携研究者)
杉橋 隆夫 (SUGIHASHI TAKAO)
立命館大学・文学部・教授
研究者番号：20025084
(H21：研究分担者、H22～：連携研究者)
桃崎 有一郎 (MOMOSAKI YUICHIRO)
立命館大学・文学部・講師
研究者番号：80551150
(H19～：研究協力者、H21～：連携研究者)
島谷 弘幸 (SHIMATANI HIROYUKI)
東京国立博物館・副館長 (研究職)
研究者番号：90170935
(H19：研究分担者、H20～：連携研究者)
猪熊 兼樹 (INOKUMA KANEKI)
東京国立博物館・学芸研究部・列品管理課
主任研究員
研究者番号：30416557
(H22より参画)
馬場 基 (BABA HAJIME)
奈良文化財研究所・都城発掘調査部・主任
研究員
研究者番号：70332195
(H19～：研究協力者、H21～：連携研究者)

(4) 専任スタッフ

吉岡 眞之 (YOSHIOKA MASAYUKI)
東京大学・史料編纂所・特任 (学術創成)
教授
研究者番号：90290858
(H19：研究分担者、H20～H21：連携研
究者、H22～：専任スタッフ)